

令和8年度 取組目標

1 校務分掌

分掌名	実践目標	具体的な取り組み方法
教務	①校務支援システムの活用	各種証明書類の発行等も含めたマニュアル整備や職員へのサポートを行い、システムを効果的に活用する。
	②読書活動の推進	「朝の読書」を中心とした読書活動を推進し、生徒の図書室利用度を向上させる。
	③積極的な学校行事等の情報提供	学校行事や表彰等の速やかな報道提供に加え、ICT、ホームページ、メール配信を駆使して家庭へ迅速に情報を伝える。
	④教員一人ひとりの授業のスキルアップの実現	ICT 教材活用実践授業や授業参観、年2回の授業評価を実施し、次年度への課題発見および解決につなげる。
	⑤生徒主体の授業の実践	教材や授業展開等を工夫することで生徒の関心を引き出し、アクティブラーニングの円滑な実現を目指す。
進路指導	①多様な求人確保・離職の防止	企業訪問を通じて多様な求人を確保し、生徒の希望とマッチングを図るとともに、就職後の定着確認を行う。
	②各種のガイダンスやHR活動（進路指導関係）の充実	各種ガイダンスを計画的に実施し、生徒の実態に合わせた質の高い情報をホームルーム活動等を通じて提供する。
	③入試・入社試験対策および面接指導の充実	進学課外や対策問題集による学力向上を図り、複数の教職員による面接練習を実施して指導の充実を図る。

分掌名	実践目標	具体的な取り組み方法
生徒指導	①『挨拶の励行・服装の整備・時間を守る・清掃をきちんとする』等、基本的生活習慣に対する意識の徹底	朝の校門指導を継続し、挨拶・服装・時間の意識を徹底するほか、日常の声かけで生徒との信頼関係を築く。
	②生徒が安全で安心して学べるとともに、地域の人々からも信頼される学校づくり	学年や教育相談部等と連携していじめや盗難の未然防止に努め、特にいじめについては初期対応を徹底する。
	③道徳教育の継続と思いやり・感謝の心の育成	各種講演会や安全教室を通じて、相手を思いやる心と自己管理能力の向上を図る。
人権・同和教育	①生徒の人権感覚を高め、人権課題を主体的に解決していく姿勢の育成	感性に訴える教材作成や「人権だより」の発行を通じ、人権意識を高める取り組みを推進する。
	②教職員の人権に関する知的理解の深化と人権感覚の養成	各種研修会への参加や定期的な研修の実施を行い、各教科の授業において人権教育的な視点を取り入れる。
	③保護者に対する積極的な啓発の実施	「人権だより」の発行やPTA総会での講話を行い、各種研修会への積極的な参加を呼びかける。
特別活動	①部活動を通しての人間形成と各種大会での上位入賞	部活動を通じた地域貢献活動を推進し、各種大会で上位入賞できるよう技術と精神の両面から指導する。
	②様々な行事への生徒一人ひとりの主体的な参加	学校行事の企画・運営において、全校生が一致団結して活動できるよう適切な指導とサポートを行う。
	③ボランティア活動に自主的に参加できる生徒の育成	地域清掃や各部活動での貢献活動を積極的に行い、社会に貢献しようとする自主的な精神を養う。

分掌名	実践目標	具体的な取り組み方法
保健・教育 相談	①基本的な生活習慣の定着と健康意識の向上、安心して過ごせる環境づくりの推進	計画的な健康診断と個別指導を行い、掲示物等を通じて基本的な生活習慣の定着と安全な学校生活の確保に努める。
	②職員の健康保持増進と健康意識の向上、心身ともに安心して働ける環境づくりの推進	ストレスチェックの実施やメンタルヘルスへの配慮を行い、働きやすい環境づくりを推進する。
	③関係者間の連携による生徒・保護者および教員のサポート	スクールカウンセラー等と密に連携して情報共有を行い、アンケート等を通じて多面的なサポートを実施する。
	④相談しやすい雰囲気づくり	悩みを持つ生徒が安心して相談できるよう、学校全体で温かく相談しやすい雰囲気づくりを心がける。
総務	①保護者（PTA）および地域、同窓会との円滑な関係維持と多面的な協力のための発信	関係各位に学校情報を積極的に発信し、教育活動への積極的な参加と協力を呼びかける。
	②校舎・器具・備品等の丁寧な取扱の意識高揚と定着	清掃活動や委員会・係の活動を通じて、公共物を大切に使用し整頓する意識を定着させる。

2 学科

学科名	実践目標	具体的な取り組み方法
商業	①ビジネスマナー及びコミュニケーション能力の向上	高校生として社会に対応できる人間教育を行い、対人スキルの向上を図る。
	②検定合格率の向上と高度資格の取得	進路目標の達成に向けて、計画的かつ体系的に検定・資格試験の取得に取り組ませる。
	③進学先や就職先の充実	生徒の能力や適性に応じた進路先の確保と開拓に努める。
電子機械	①専門知識・技術の基礎基本の充実	科目間の横断的学習により知識・技術を確実に身につけさせ、自立した学習者を育成する。
	②高度な資格・検定取得への挑戦と個別最適な学習の推進	個別最適な学習により知識・技術を高め、検定や資格取得に自主的かつ積極的に取り組ませる。
	③地域に貢献するものづくりと技術の向上	郷土愛を持ち、地域に貢献するものづくりを実践し、技術・技能を高めるとともに豊かな創造力を養う。
情報科学	①ICT 機器活用による生徒の主体的な姿勢の育成	各学年の課題や実習に ICT 機器を効果的に活用し、主体的に学ぶ姿勢を育てる。
	②基礎的・基本的な知識や技術・技能の習得と資格・検定への挑戦	基礎的な技能を確実に習得させ、各種資格や検定試験への積極的なチャレンジを促す。
	③インターンシップ等を通じた就職・進学指導の充実	地元企業の見学等を通じて正しい職業観を養い、進路目標の設定を支援する。

3 学年団

学年団	実践目標	具体的な取り組み方法
3 年団	①最後までやり抜く姿勢の育成	自助努力の精神を養い、進路決定後も目標を持って生活できるよう粘り強く指導する。
	②尊重と協働の醸成	相手を尊重する態度を育て、集団の中で協力して行動できるよう指導する。
	③目的意識の向上と進路実現	高い目的意識を持たせ、自らの進路実現に向けた取り組みを充実させる。
2 年団	①良好な人間関係の構築	相手の立場を尊重し、全員が心地よく活動できるよう互いに配慮し合える集団を築く。
	②規範意識の向上	挨拶・服装・清掃・時間厳守を徹底し、校則を遵守する態度と基本的生活習慣を確立させる。
	③学力向上と進路実現への啓発	日々の授業や提出物を大切にし、オープンキャンパス等への参加を通じて進路意識を高める。
1 年団	①基本的生活習慣の確立	時間厳守や挨拶など、「当たり前を当たり前にする」力を身につけ、高校生活の土台を作る。
	②主体性の育成	自ら考えて行動する姿勢を重視し、あらゆる活動において「自分から関わる」意識を育てる。
	③他者理解と集団づくり	互いの多様な考えを認め合い、新しい仲間と安心して過ごせる学年集団を形成する。

